

MBSE支援

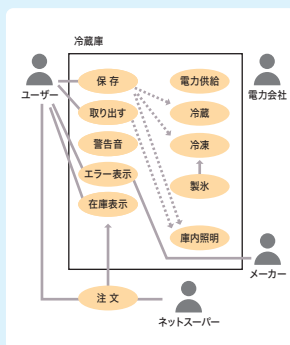
SOLIZE Ureka Technologyは、お客さまの開発スタイルや対象システムの特性に応じたMBSEの導入支援サービスを提供しています。

MBSEとは

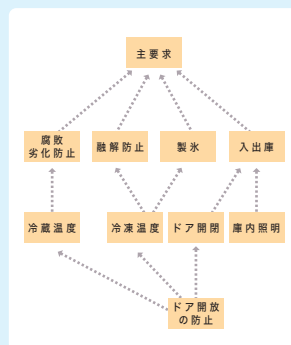
自動車産業に押し寄せるCASE (Connected, Autonomous, Shared, Electric) の波により、制御システム開発の重要度は急速に増えています。また、それらシステムが提供するサービス機能は、複数の外部システムやサブシステムと綿密に連携しながら実現させる必要があるため、システム開発の状況はますます複雑化・大規模化しています。

そこで、複雑化したシステム開発を成功に導くための手段として、MBSE (Model-Based Systems Engineering) が注目を集めています。MBSEとは、おもにSysMLなどのモデリング言語を活用して、開発対象のシステムを多面的かつ抽象的に表現することでシステム仕様の全体最適化を実現する開発手法です。

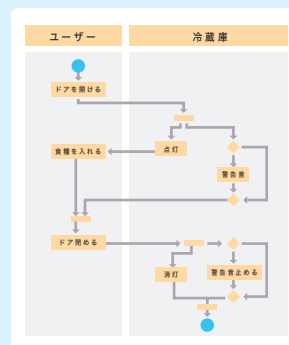
ユースケース図



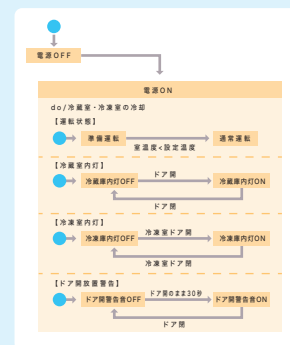
要求図



アクティビティ図



ステートマシン図



SysMLのダイアグラム

MBSE (SysML) 基礎教育サービス

近年、多くの企業でMBSEの導入・活用が進められており、先進的な企業ではすでに大きな効果が得られていますが、導入がうまく進められていない企業も多く存在しています。SOLIZE Ureka Technologyでは、これからMBSEの導入を始めるお客さまを対象に、代表的なモデリング言語であるSysMLの基礎教育サービスを実施しています。

カリキュラム

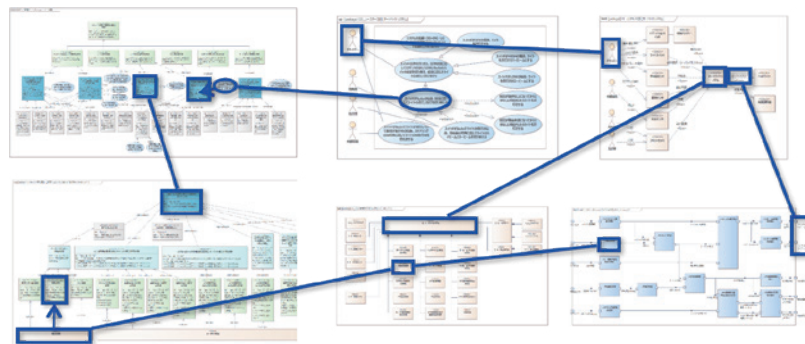
- 標準期間：1日4時間×4日間（期間はお客さまの状況に応じてアレンジ可能です）
- 効果：代表的なSysMLダイアグラムの種類と特長、使用ルールを習得し、各種ダイアグラムの読解・作成が行えるようになる
- 内容：
 - 1日目** SysMLとモデリングの概要、SysMLのダイアグラムの概要、要求図 (Requirement Diagram)
 - 2日目** ユースケース図 (Usecase Diagram)、アクティビティ図 (Activity Diagram)
 - 3日目** ステートマシン図 (State Machine Diagram)、ブロック定義図 (Block Definition Diagram)
 - 4日目** 内部ブロック図 (Internal Block Diagram)、シーケンス図 (Sequence Diagram)
- 対応実績ツール：Enterprise Architect、astah*SysML（お客さまのニーズに合わせて対応します）

3つの特長

- ① 代表的なSysMLダイアグラムの種類と特長、使用ルールなど、基礎をしっかりと習得できる
- ② SysML作成ツールを利用した実践形式なので、自分でダイアグラムが作成できるようになる
- ③ クルーズコントロールを題材にした演習課題により、実業務に必要な考える力を習得できる

MBSE導入支援サービス

SOLIZE Ureka Technologyが提供するMBSE導入支援サービスは、オートライト制御などの具体的な事例を用いたワークショップ形式で実施しています。お客さまの製品のSysMLモデルをSOLIZE Ureka Technologyと共に作成し、実業務に適用するためのノウハウを習得していただきます。

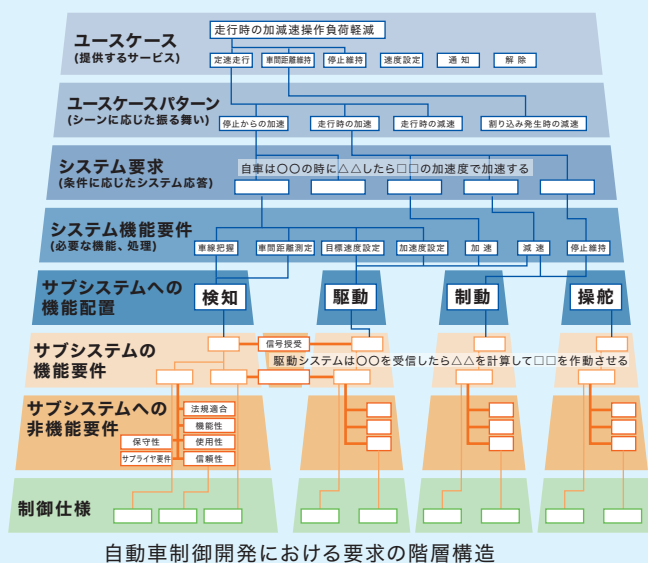


MBSEコンサルティングサービス

お客さまの業務課題を分析しMBSEを活用して業務変革を実現する、コンサルティングサービスを提供しています。サービスの提供形態は「現場常駐型」です。品質向上に必要な技術と変革実行力を提供し、お客さまとSOLIZE Ureka Technologyのコンサルタントで協働しプロジェクトを推進します。

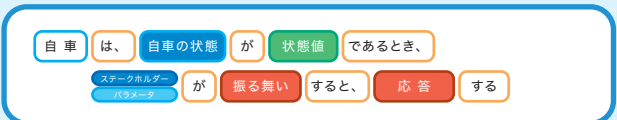
① 要件の階層化

要求を階層化し、誰が行っても一定の規則性と網羅性を確保した要求抽出を実現します。



② 用語・構文のルール化

要求記述で利用してよい用語と、要求階層ごとの構文をルール化し、要件記載粒度を統一化します。



システム要求の構文ルール



サブシステム機能要件の構文ルール

